

【ファッションビジネス科 1年】

		カリキュラム	コマ数	担当
一般 科目	必修	コミュニケーション活動 I	30	金田
	選択	I Tリテラシー	15	保科
専門 科目	必修	ファッションビジネス論	15	金田
		モード史	15	金原
		マーケティングリサーチ	15	片山
		ECビジネス I	15	野村
		デジタルマーケティング I	15	後日決定
		マーチャンダイジング	30	大方
		VMD	15	繁田
		ファッショントレンド I	15	相川
		商品企画 I	15	大方
		アパレル素材論 I	15	金原
		色彩学	30	横山
		パーソナルカラー	15	横山
		コミュニケーション技法	15	横山
		セルフプロデュース	10	桜井
		パブリックマナー	5	辻本
		接客技術 I	45	澤田
		ファッションコーディネート	15	金田
		ショップマネージメント I	15	松本
	ビジネスプランニング I	15	川松	
	選択	デザインアプリケーション	15	金田
ヘアメイク基礎		15	前田	
特別 科目	必修	キャリアプラン	15	嶋田
	選択	インターンシップ	15	金田
		産学連携プロジェクト I	15	金田
		ファッションビジネス特別演習 I	15	松本 うちだ 金田
		共通選択科目	15	担当講師
年間履修時間数			480	
年間授業日数			180	

シラバス(授業概要)			年度		2026年度
			時間数は45分換算		
授業科目名			授業形態		学科・コース
コミュニケーション活動 I			講義演習科目		ファッションビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	1	金田 真哉
履修要件					
必修科目であるため必ず履修が必要である。					
授業の目的・目標					
思いやりの気持ちをもって、相手と意思疎通がとれるようになる。コミュニケーションスキルを高め、協調性をもって信頼関係を築けるようになる。					
授業の概要					
グループ活動を通して、コミュニケーションの重要性を理解し、相手と考えや意思を伝え合い理解し合うことを学ぶ。					
成績評価の方法					
1. 平常点 (主体的な授業参加度)				平常点	30%
2. 学習意欲 (学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢)				学習意欲	30%
3. 出席率				出席率	40%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. ~12. オリエンテーション			8		
13. ~20. 球技大会など			8		
21. ~37. 校外研修(東京他)			8		
38. ~51. 外部イベントなど			8		
52. ~60. その他学校イベント			28		
履修上の注意事項					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度		2026年度
時間数は45分換算			科目コード		
			授業科目名		授業形態
ITリテラシー			講義演習科目		ファッションビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	保科 康浩
履修要件					
必修科目であるため必ず履修が必要である。					
授業の目的・目標					
自分のパソコンの使用環境を設定する。 社会人必須のMicrosoft365 (PowerPoint、Word、Excel) の基本操作を習得する。 スマホと連携して今後の授業活動に活用できるように知識を吸収する。					
授業の概要					
自分のパソコンに必要となるアプリケーションをインストールし、情報機器を連携させて活用することができるようになる。具体的にはOffice365環境の実装、各アプリケーションの基本的な利用方法を習得する。Zoomを使ったリモート環境が利用できるようになる。OneDrive環境を利用したスマホ⇄PCの連携ができるようになる。社会人としてICT活用を考える。					
成績評価の方法					
1. 平常点 (主体的な授業参加度) 2. 学習意欲 (学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢) 3. 出席率				課題	50%
				平常点	30%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
使用テキスト：授業資料、練習問題、課題は印刷物・PDFデータで配布する。 教材：自分のパソコン					
授業内容・授業計画					
			時間数	時間数	
1.	オリエンテーション、授業アンケート		2		
2.	PCへの各種アプリのインストール		2		
3.	PCとスマホのデータ操作		2		
4.	Webアプリとデスクトップアプリの違い		2		
5.	Win11と生成AI(Copilot)について		2		
6.	ビジネスメールの基礎		2		
7.	Wordによるビジネス文書の作成		2		
8.	PowerPointの基礎知識		2		
9.	PowerPointでの画像操作		2		
10.	PowerPointでコラージュ		2		
11.	Excelの基本操作		2		
12.	Excelでグラフ作成		2		
13.	ExcelとPowerPointとの連携		2		
14.	ExcelとPowerPointでプレゼン		2		
15.	課題		2		
履修上の注意事項					
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度		2026年度
			科目コード		
授業科目名			授業形態		学科・コース
ファッションビジネス論			講義・演習		ファッションビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	1	金田 真哉
履修要件					
必修科目であるため必ず履修が必要である。					
授業の目的・目標					
単に衣服を生産し販売するというだけでなく、環境問題もふまえた人々のあり方を考え、服や着こなしに対する消費者のニーズを察知し、新しい考え方や技術に基づいて商品をつくり、効果的な方法で消費者に提案・購入・満足してもらうためのビジネスである事を理解する。					
授業の概要					
ファッション業界で勤める上で必要な土台となる流通のしくみが理解でき、将来希望する職種で必要とする専門的な知識・技術を学びそれらを駆使して就職活動や仕事に活かす事ができる。ファッションビジネス能力検定3級取得を目指す。					
成績評価の方法					
1. 平常点（主体的授業参加度） 2. 学習意欲（学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢） 3. 検定取得 これらの要件で総合的に評価する。				平常点	30%
				課題	20%
				検定試験	50%
使用テキスト・教材					
ファッションビジネス I ファッションビジネス用語辞典 WWD JAPAN 他資料配布					
授業内容・授業計画					
					時間数
1.	ファッションビジネスの概要（定義と特性）				2
2.	繊維ファッション産業の流れ（企画～製造～販売まで）				2
3.	ファッション消費と消費者行動（消費者意識と行動、消費者のファッション表現）				2
4.	ライフスタイルとファッション（ライフスタイルとは？TPO シーズンサイクル）				2
5.	お客様の購買行動（お客様・顧客 購買行動 購買心理のプロセス）				2
6.	アパレル産業と小売産業				2
7.	アパレル産業とは？（アパレルメーカー、デザイナーブランドビジネス インポート）				2
8.	アパレルビジネス、ジャパン社、ライセンスビジネス）				2
9.	小売企業とは？（百貨店、量販店、専門店、チェーンストア、無店舗販売）				2
10.	筆記試験（1～8 振返り）				2
11.	ファッション企業のマーケティング				2
12.	ファッションマーチャンダイジング				2
13.	ファッション流通（流通とは？アパレルメーカーと小売企業の取引条件）				2
14.	ファッション造形知識				2
15.	ファッションビジネス能力検定3級対策（過去問題）				2
履修上の注意事項					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。			各専門科目全般		

シラバス(授業概要)			年度		2026年度
			時間数は45分換算		
			科目コード		
授業科目名		授業形態		学科・コース	
モード史		講義演習科目		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	2	金原 陽子
履修要件					
必修科目であるため必ず履修が必要である。					
授業の目的・目標					
時々の社会背景やそこに生きる人の感性が表現される「装い」を辿り、ファッションの担う意味を知る。 んだ知識をコーディネート提案などに活かす。 定対応。					
授業の概要					
日本におけるファッション（スタイル）の変化を追う。 本人が着物文化から海外からの影響で洋装へ、年月を経て情報発信する側にまで至る変遷を教科書と資料プリントで学 ぶ。					
成績評価の方法					
1. 課題（提出期限厳守 内容の習熟度と完成度） 2. 学習意欲（習得の必要性を理解し、積極的に取り組んでいる。） 3. 筆記試験（理解度 習熟度）				課題	40%
				学習意欲	25%
				筆記試験	35%
使用テキスト・教材					
西洋服装史（文化服装学院編） ファッションクロニクル（講談社エディトリアル） ファイル（A4）					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1.	シラバスの説明 教科書 資料の活用法	1	11.	2000年代のモード②	2
	1940年代のモード①	1	12.	2000年代のモード③	2
2.	1940年代から50年代のモード②	2	13.	2000年代のモード④	1
3.	1960年代のモード	2		ここまでのまとめ 小テスト	1
4.	1970年代のモード①	1	14.	FB検定対応①	2
	ここまでのまとめ 小テスト 夏季課題	1	15.	FB検定対応②	2
5.	1970年代のモード②	1			
	1980年代のモード①	1			
6.	1980年代のモード②	2			
7.	1980年代のモード③	1			
	1990年代のモード①	1			
8.	1990年代のモード②	2			
9.	1990年代のモード③	1			
	ここまでのまとめ 小テスト	1			
10.	2000年代のモード①	2			
履修上の注意事項					
単元ごとの課題を確実に提出することが求められる。					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2026年度	
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
マーケティングリサーチ		講義演習科目		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	1	片山 留美
履修要件					
必修科目であるため必ず履修が必要である。					
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・マーケットの基礎を学び、ベーシックスキル(データ収集法)を身に付ける。 ・顧客層の属性・ニーズ・トレンド・競合他社の状況など、商品やマーケットを理解する術を身に付ける。 					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> ・ Show&Tell手法を取り入れ、コミュニケーション力を同時に養う ・ 他科目(ファッションブランド研究・商品企画・マーチャンダイジング・バイイング演習 等)への導入科目として、ファッション業界に必要なベーシックスキルを知識xワークの組み合わせで実体験として身に付ける 					
成績評価の方法					
出席率・授業態度・参加意欲・課題を総合的に判断し評価する。				平常点	30%
				課題	30%
				学習意欲	40%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・ ファッションビジネス 3級 ・ ファッションパーツ図鑑 ・ やさしくわかるお店の数字 					
授業内容・授業計画					
					時間数
1.	ファッション業界の概要 - トrendとは				2
2.	マーケットリサーチとマーケティングリサーチの違い				2
3.	リサーチターゲットの選定 (ブランド or ショップ)				4
4.	レポート作成 (東京リサーチver.) →発表				4
5.	リサーチワーク 定点観測 vol.1 (実店舗) →レポート作成→発表				4
6.	メディア分析 (Google トrend/Yahoo! リアルタイム検索/X・Instagram等のSNS) レポート作成→発表				4
7.	リサーチワーク 定点観測 vol.2 (実店舗) →レポート作成				4
8.	リサーチ				4
9.	まとめ&総評				2
履修上の注意事項					
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度		2026年度
			時間数は45分換算		
			科目コード		
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ECビジネス I		講義演習科目		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	野村 佳祐
履修要件					
必修科目であるため必ず履修が必要である					
授業の目的・目標					
ECビジネス(通販)の現状を知り、基礎を学ぶ。 商品の魅せ方、また接客や服の知識を活かした文章の制作、細かい作業の反復 基礎とワークを通してECでの売れる表現をできるようにする。□					
授業の概要					
現状のECビジネスの基礎を学ぶ。 ワーク学習を通し、普段使ってる「通販」の詳細を知ってもらう。 基礎、知識を活かしてひとりひとりが実践で学んでいく。					
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> 日々の課題(授業中の習熟度や完成度、提出期限厳守) 学習意欲(出席率、授業に取り組む姿勢や意欲の有無) 最終課題(最後にひとりひとりのEC課題の発表・提出) 				日々の課題	25%
				学習意欲	25%
				最終課題	50%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1.	オリエンテーション:(自己紹介・好きな通販サイト・類人猿診断)		2		
2.	説明:ECビジネスとは何か		2		
3.	説明&ワーク:自分の好きなサイトを探そう		2		
4.	発表:自分の好きなサイトを探そう		2		
5.	説明:ECビジネスに必要な知識&技□		2		
6.	説明&ワーク:販促物(Canva)		2		
7.	説明&ワーク:販促物(Canva)		2		
8.	実践課題:販促物(Canva)		2		
9.	実践課題:販促物(Canva)		2		
10.	説明&ワーク:EC撮影について□		2		
11.	説明&ワーク:ササゲ/文章□		2		
12.	説明&ワーク:ササゲ/撮影□		2		
13.	説明&ワーク:ササゲ/その他		2		
14.	ワーク:EC全体実践		2		
15.	発表		2		
履修上の注意事項					
単元ごとの課題を確実に提出することが求められる。					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度		2026年度
			時間数は45分換算		
			科目コード		
授業科目名		授業形態		学科・コース	
デジタルマーケティング I		講義演習科目		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	1	後日決定
履修要件					
必修科目であるため必ず履修が必要である。					
授業の目的・目標					
デジタルメディアを理解し、セルフプロモーション力を習得する。					
授業の概要					
マーケティングの基礎を理解する。 SNSを活用する上での注意点を理解する。 SNS上でのセルフプロデュースの強化と実演。					
成績評価の方法					
課題提出、最終発表、授業態度を総合的に評価する。				最終発表	40%
				課題	40%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
必要に応じて資料配布					
授業内容・授業計画					
					時間数
1.	オリエンテーション (学習目標の共有・各種ツールの設定等)				2
2.	マーケティングの基礎編(マーケティングとは/デジタルマーケティングとは)				4
3.					
4.	消費者行動の変化 (社会の変革) とSNSの役割				4
5.					
6.	SNS炎上と企業が受けるダメージと対策、謝罪				2
7.	デジタルタトゥーと個人情報の保護				2
8.	マーケティングの応用編の入り口				
9.	トリプルメディアマーケティングの考え方				4
10.	セルフプロデュースの必要性・自己分析と他者分析				
11.	なりたい自分像を明確にし、アウトプット力を身につける				4
12.	ショート動画の特徴(SNSにおけるアルゴリズム)と制作方法				2
13.	セルフプロデュースを目的としたショート動画制作				4
14.					
15.	写真(動画)でアウトプット・発表				2
履修上の注意事項					
単元ごとの課題を確実に提出することが求められる。					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度		2026年度
			時間数は45分換算		
			科目コード		
授業科目名		授業形態		学科・コース	
マーチャンダイジング		講義演習科目		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	1	大方 和則
履修要件					
必修科目であるため必ず履修が必要である。					
授業の目的・目標					
①MDの5適を簡潔に説明できる。 ②マーケティングにおける7P戦略を簡潔に説明できる ③国内外の主要な産地を簡潔に説明できる。 ④就職活動における企業研究に役立てることができる。					
授業の概要					
実際にショップを企画し、運営シュミレーションを行う中で実践的に品揃え計画・商品企画を行いMD(=マーチャンダイジング)の基礎知識を学んでいきます。					
成績評価の方法					
1. 企画書の完成度 70%				課題	70%
2. 受講態度 30%				受講態度	30%
使用テキスト・教材					
必要に応じてレジュメを配布します。					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. ファッション業界の現状			4		
2. 市場機会の分析(マクロ ミクロ分析)について			4		
3. 市場機会の分析(総合環境分析)について			4		
4. 価値の創出とターゲット設定			4		
5. 立地戦略			4		
6. バイイングSS①			4		
7. バイイングAW①			4		
8. SPA企画(国内産地)			4		
9. SPA企画(海外産地)			4		
10. インストアプロモーション① 接客			4		
11. インストアプロモーション② VMD			4		
12. 52週MD			4		
13. 予算策定①			4		
14. 予算策定②			4		
15. 総論			4		
履修上の注意事項					
単元ごとの課題を確実に提出することが求められる。					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)		年度	2026年度		
時間数は45分換算		科目コード			
授業科目名		授業形態		学科・コース	
VMD		講義演習科目		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	繁田 和美
履修要件					
必修科目であるため必ず履修が必要である。					
授業の目的・目標					
店舗、売り場づくりの基本である【商品陳列】から【演出】についての一般的な知識と技術の習得。ブランドコンセプトや商品特性に基づく演出や陳列を学び、顧客の購買心理や購買行動を理解し、お客様視点で売り場を観察しプランニングができる。					
授業の概要					
VMDは店のメッセージやブランド価値を伝え、お客様視点に基づく店づくり方法である。店舗運営において、商品の展示陳列まで計画するVMDは欠かせない技術です。VMDの基礎知識を学び、実習を通してインスタレーション及びヴィジュアルプレゼンテーションのスキルを習得する。					
成績評価の方法					
課題および学習意欲、発表および提出物の内容をもとに、総合的に評価する。				課題	40%
課題（総合課題の完成度、プレゼンテーション）				提出物	40%
提出物（提出の有無、提出物の完成度）				学習意欲	20%
学習意欲（学習意欲の有無、取組む姿勢、主体的な授業参加度）					
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・VMD新テキストビジュアル版 早乙女喜栄子 ・資料等配布 					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	VMDの概要/商品分類、VMD分類、陳列技術		2		
2.	陳列技術(IP)の基礎、定数定量		2		
3.	演出技術(VP・PP)の基礎		2		
4.	店舗の見方、リサーチ方法、ゾーニング		2		
5.	店舗リサーチ(フィールドワーク)		2		
6.	演出技術の応用 VMDまとめ		2		
7.	ディスプレイプランニング/実習		2		
8.	計画①プレスト、リサーチ		2		
9.	計画②図面作成		2		
10.	シミュレーション		2		
11.	準備 現場設営タイムスケジュール		2		
12.	インスタレーション/現場設営		2		
13.	インスタレーション/現場設営		2		
14.	インスタレーション/現場設営		2		
15.	講評&まとめ		2		
履修上の注意事項					
単元ごとの課題を確実に提出することが求められる。					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2026年度	
				科目コード	
時間数は45分換算					
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ファッショントレンドI		講義科目		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	2	相川 克彦
履修要件					
必修科目であるため必ず履修が必要である。					
授業の目的・目標					
ファッションのプロとして必要となる基礎知識を総合的かつ多角的に学び、業界理解の土台を築くことを目的とする。最新のファッションニュースに触れながら、業界の流れ、全体像を理解し、トレンドのほか、サプライチェーン、マーケティング、サステナビリティ、デジタル化、グローバル化など、現代のファッションビジネスにおける重要な要素を体系的に学ぶ。					
授業の概要					
ファッションにおけるクリエイションとビジネスの両面を総合的かつ俯瞰的に学ぶことで、国内外の最新トレンドを読み解き、流行を左右する重要なポイントや業界が抱える課題・問題点を自ら発見し、対応策・解決策を考える力を養う。ファッションの使命や魅力、社会的役割を主体的に考えることで、自身のビジョン形成につなげ、将来のキャリアや社会・地域に貢献できる人材としての基礎力を育成する。					
成績評価の方法					
1. 出席率 2. レポート課題（学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢） 3. 授業意欲（主体的授業参加度） これらの要件で総合的に評価する。				出席率	30%
				レポート課題	40%
				授業意欲	30%
使用テキスト・教材					
ファッション・ビューティ専門紙「WWDJAPAN」 デジタルメディア「WWDJAPAN.Digital」（INFASパブリケーションズ）					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1.	ガイダンス/ファッショントレンドを学ぶ意味とは		2		
2.	今ファッション業界に何が起きているのか		2		
3.	ファッション業界の構造(製造～小売り、職種)		2		
4.	流行はどこから生まれるのか？		2		
5.	ファッションウィーク①(パリ・ミラノ)		2		
6.	ファッションウィーク②(NY・ロンドン)		2		
7.	東京ブランドの現在		2		
8.	台頭する韓国・中国ファッション		2		
9.	今注目すべき世界のブランド・デザイナー		2		
10.	2026-27年秋冬トレンド分析		2		
11.	今後の小売店に求められること		2		
12.	DXで変わる服の作り方・売り方		2		
13.	ファッションマーケティングのポイント		2		
14.	サステナビリティとは何か		2		
15.	今ファッション業界人に必要なスキル		2		
履修上の注意事項					
社会情勢や時代の変化を含むファッションに対する興味・関心・好奇心を持つこと。 自分はファッションを通じて何を実現したいのか、どのように成長したいのかという目的意識を持ちながら、人や社会にどのような形で貢献できるかを主体的に考えられる姿勢を求める。					
その他			関連科目		
※予め「WWDJAPAN」に目を通して授業に臨むこと。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度		2026年度
			時間数は45分換算		
			科目コード		
授業科目名		授業形態		学科・コース	
アパレル素材論		講義演習科目		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	2	金原 陽子
履修要件					
必修科目であるため必ず履修が必要である。					
授業の目的・目標					
アパレル素材論の得た知識を他の授業（コーディネート 接客、FB検定など）の場で活かすことが出来る。					
授業の概要					
教科書から基礎知識を学びながら、実際の生地、製品に触れる機会をもち、素材の物性・感性面の特性をバランス良く知る。					
1. 学習意欲（積極的な受講態度） 2. 筆記試験（受験し、及第点をとること。） 3. 課題（提出期限を守る。内容の完成度。）を総合的に判断する。				学習意欲	20%
				筆記試験	40%
				課題	40%
使用テキスト・教材					
アパレル素材論（文化服装学院編） 表生地標本集（文化購買授業部） メジャー ファイル（A4）					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	シラバス説明	1	13.	その他のアパレル素材（天然 人工）	1
	アパレル素材論の知識を活かすために①	1		羽毛の特性	1
2.	アパレル素材論の知識を活かすために②	1	14.	課題 素材の知識を活かしたコーディネート	2
	メジャーの利用法(身体 製品採寸など)	1	15.	課題 素材の知識を活かしたコーディネート	2
3.	天然繊維(植物繊維)の種類と特性	2			
4.	天然繊維(動物繊維)の種類と特性	2			
5.	化学繊維(再生繊維)の種類と特性	2			
6.	化学繊維(半合成繊維)の種類と特性	2			
7.	化学繊維(合成繊維)の種類と特性	2			
8.	糸	2			
9.	織物(三原組織 変化組織など)	2			
10.	編物(三原組織 変化組織など)	2			
11.	復習ペーパーテスト	1			
	その他のアパレル素材(天然皮革)	1			
12.	その他のアパレル素材(人造皮革)	2			
履修上の注意事項					
単元ごとの課題を確実に提出することが求められる。					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度		2026年度
			時間数は45分換算		
			科目コード		
授業科目名		授業形態		学科・コース	
商品企画 I		講義演習科目		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	1	大方 和則
履修要件					
必修科目であるため必ず履修が必要である。					
授業の目的・目標					
①ファッション企業の多角化戦略を簡潔に説明できる。 ②広義のファッションで事業立案ができる。 ③就職活動の企業研究に役立てることができる。					
授業の概要					
ファッション商品を「衣服・服飾雑貨」という狭義の定義ではなく、広義のファッション＝「衣食住遊休知健体美」野中で多角化事業立案を進めながら現在のファッション企業の多角化戦略と事業の先にどのような社会貢献につながっているか分析します。					
成績評価の方法					
1. 事業計画書の完成度 70%				課題	70%
2. 受講態度 30%				受講態度	30%
使用テキスト・教材					
必要に応じてレジュメを配布します。					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1.	アパレル業界の多角化の現状について		2		
2.	パーパス経営について		2		
3.	事業創出について①		2		
4.	事業創出について②		2		
5.	ライバル企業調査		2		
6.	ターゲット市場分析		2		
7.	差別化について①		2		
8.	差別化について②		2		
9.	ビズグラム作成①		2		
10.	ビズグラム作成②		2		
11.	ビズグラム作成③		2		
12.	商品戦略について①		2		
13.	商品戦略について②		2		
14.	商品戦略について③		2		
15.	総論		2		
履修上の注意事項					
単元ごとの課題を確実に提出することが求められる。					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度		2026年度
時間数は45分換算			科目コード		
			授業科目名		授業形態
色彩学			講義演習科目		ファッションビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	60	4	横山 明子
履修要件					
必修科目であるため必ず履修が必要である。					
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・ファッション業界において必要な色彩の基礎知識の習得 ・色彩検定3級合格 					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> ・公式テキストの内容に準じて色彩の基礎知識を習得する。 ・配色カードを使った演習を行うことで目で色を理解するとともに感性を磨く。 ・問題を繰り返し行い検定合格に向けて知識を定着させる。 					
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> ・検定の可否結果 ・練習問題や過去問題の点数 ・学習意欲 				検定結果	40%
				問題の点数	30%
				学習意欲	30%
使用テキスト・教材					
色彩検定3級公式テキスト PCCS配色カード はさみ のり					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	色のはたらき	1	16.	練習問題・過去問題	18
2.	光と色	3			
3.	混色	2			
4.	色の表示	4			
5.	PCCS	4			
6.	色の心理効果	2			
7.	色の視覚効果	2			
8.	色彩調和 色相配色	4			
9.	色彩調和 トーン配色	4			
10.	色彩調和 配色技法	2			
11.	配色演習	4			
12.	配色イメージ	2			
13.	ファッション	4			
14.	インテリア	2			
15.	慣用色名	2			
履修上の注意事項					
単元ごとの課題を確実に提出することが求められる。					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度		2026年度
時間数は45分換算			科目コード		
			授業科目名		授業形態
パーソナルカラー			講義演習科目		ファッションビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	2	横山 明子
履修要件					
必修科目であるため必ず履修が必要である。					
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> 色が顔に与える影響を理解し、お客様に対してパーソナルカラーの観点からアドバイスできる基礎知識を身に付ける 色彩技能パーソナルカラー検定モジュール1合格 					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> 公式テキストの内容に準じてパーソナルカラーの基礎知識を習得する。 ドレープを使い自身やクラスメイトの顔がどのように変化するのか確認し、実践で活かせる知識として落とし込む。 配色カードを使った演習を行い、色の特性を目で理解できる力を身に付ける。 問題を繰り返し行い検定合格に向けて知識を定着させる。 					
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> 検定の可否結果 練習問題や過去問題の点数 学習意欲 				検定結果	40%
				問題の点数	30%
				学習意欲	30%
使用テキスト・教材					
色彩技能パーソナルカラー検定®モジュール1公式テキスト PCCS配色カード パーソナルカラー配色カード はさみ のり					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. パーソナルカラーとは			1		
2. 色を見るための条件			2		
3. 色の属性			2		
4. 色が顔に与える影響			2		
5. 色のものさし			2		
6. 色彩の心理効果			1		
7. 配色法			2		
8. 配色演習			2		
9. フォーシーズン分類			2		
10. 自分のパーソナルカラー診断			2		
11. パーソナルカラー診断の体験			2		
12. 色の見分け			2		
13. 練習問題・過去問題			8		
履修上の注意事項					
単元ごとの課題を確実に提出することが求められる。					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)		年度		2026年度	
		科目コード			
授業科目名		授業形態		学科・コース	
コミュニケーション技法		演習科目		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	1	川松 夕見子
履修要件					
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動を視野に入れ、社会人としての聞き方、話し方、キャッチボールの仕方を意識づける。 ・ビジネスシーンに求められる対人スキルやプレゼンテーションの手法を学び、就職活動や企業とのやりとり、他授業も含めた発表の場で活用できるようにする。 ・セルフプロデュースや企画提案にも応用できる総合的なプレゼン力アップを目指す。 					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> ・仕事現場を想定した言葉遣いや報連相、ディスカッションなどを、様々なシチュエーションに対応したワークで疑似体験しながら学ぶ。 ・商業施設への実践プレゼンテーションを通して、ビジネスマナーや表現手法を身につける。 ・ガイダンスや面接、ディスカッションなど就活イベントごとの対策スキルをトレーニングする。 					
成績評価の方法					
課題の内容や提出状況、学習意欲（ワークへの取り組み方や積極性）、発表の内容や表現などをもとに、総合的に評価する。				課題	30%
				学習意欲	30%
				プレゼン	40%
使用テキスト・教材					
スライドデータまたはプリント配布					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 授業オリエン、「コミュニケーション」とは、ウォーミングアップ演習					2
2. ビジネスコミュニケーション基礎①オトナコトバ					2
3. ビジネスコミュニケーション基礎②報連相					2
4. ビジネスコミュニケーション基礎③ディスカッション					2
5. ビジネスコミュニケーション基礎④プレゼンテーション					2
6. プレゼンテーション応用①就活シーンでの自分プレゼン					2
7. プレゼンテーション応用②仕事現場での改善提案					2
8. プレゼンテーション実践①ビジネスプレゼンの目的と構成					2
9. プレゼンテーション実践②プロモーション報告のスライド作成					4
10. プレゼンテーション実践③プロモーション報告のプレゼン準備					4
11. 就活対策スキル①グループ面接、グループディスカッション					4
12. 就活対策スキル②企業研究、ガイダンス					2
履修上の注意事項					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。			ビジネスプランニング I		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度		2026年度
			時間数は45分換算		
			科目コード		
授業科目名		授業形態		学科・コース	
セルフプロデュース		講義演習科目		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	20	1	桜井 貴斗
履修要件					
必修科目であるため必ず履修が必要である。					
授業の目的・目標					
セルフプロデュースを学ぶことでブランドのより良い見せ方・伝え方を知ることができる。その結果、消費者・生活者(ブランド・商品・サービスを買ってくれる人)にの魅力を伝えることができるようになることを目指す。					
授業の概要					
①様々な事例を通してWeb PRとは何か?を理解する。 ②自分たちのWebPR戦略をつくる。					
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> ・課題提出(授業中の課題) <input type="checkbox"/> ・学習意欲(授業に取り組む姿勢) <input type="checkbox"/> 				最終発表	40%
				課題	30%
				学習意欲	30%
使用テキスト・教材					
配布資料					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 授業概要(&全体像説明)			2		
2. ブランディングとは			2		
3. マーケティングとは			2		
4. ブランディング・マーケティングの事例			2		
5. ブランド・エクイティピラミッドの作り方			2		
6. PR戦略概論(Who・What・How) <input type="checkbox"/>			2		
7. 市場分析と自分の強みの整理			2		
8. ターゲットペルソナの整理			2		
9. プレゼン・講評			2		
10. プレゼン・講評			2		
				時間数	
履修上の注意事項					
単元ごとの課題を確実に提出することが求められる。					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度		2026年度
			科目コード		
授業科目名			授業形態		学科・コース
接客技術 I			講義演習科目		ファッションビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	90	3	澤田 恭子
履修要件					
必修科目であるため必ず履修が必要である。					
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ■接客の基礎知識・技術の習得 ■社会人としてのマナー徹底 ■コミュニケーション能力とパフォーマンス向上によるオールランドプレイヤーの育成 					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> ■実践トレーニングによる基礎項目の完全習得 ■対人スキルの向上と接客バリエーションのマスター 					
成績評価の方法					
学習意欲（授業に取り組む姿勢・向上心） 課題（レポートの内容・完成度・提出期限） 実技テスト（ロールプレイング・レポート） ※これらの要件で総合的に評価する。				学習意欲	35%
				課題	35%
				実技テスト	30%
使用テキスト・教材					
資料配布					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	接客業の必要性、コミュニケーションディスカッション	2	18-19	実技⑥ヒアリング方法	4
2.	基礎①言葉遣い(接客8大用語・ビジネス用語)	2	20-21	実技⑦提案方法（比較）	4
3.	基礎②購買心理8段階	2	22-23	実技⑧提案方法（コーディネート）	4
4.	基礎③観察力（情報・関連・仮説）	2	24-25	実技⑨表現力（共感）	4
5.	基礎④洞察力（予測・推察）	2	26-27	実技⑩表現力（抑揚）	4
6.	基礎⑤傾聴力・会話力・提案力	2	28-29	実技⑪言葉のバリエーション	4
7.	基礎⑥表現力（イメージトレーニング）	2	30-31	実技⑫コミュニケーション提案	4
8.	基礎⑦基本動作（姿勢・お辞儀・所作）	2	32-33	実践①目的別提案（アイテム）	4
9.	実技①動的待機	2	34-35	実践②目的別提案（コーディネート）	4
10.	実技①ファーストアプローチ	2	36-37	実践③目的別提案（潜在）	4
11.	実技②セカンドアプローチ	2	38-43	ロープレテスト練習	12
12.	実技③心理別アプローチ	2	44-45	ロープレテスト（出場者選出）	4
13.	実技③アプローチバリエーション	2			
14-15	実技④ニーズ確認（顕在ニーズ）	4			
16-17	実技⑤ニーズ確認（潜在ニーズ）	4			
履修上の注意事項					
単元ごとの課題を確実に提出することが求められる。					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。			※学内ロールプレイングコンテスト開催		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2026年度	
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ファッションコーディネート		講義演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	1	金田 真哉
履修要件					
必修科目であるため必ず履修が必要である。					
授業の目的・目標					
ファッションコーディネートをする上で必要な、アイテム知識、トレンド知識、色・素材・柄・感覚に視点を置いた論理的なコーディネートの基本を学び自身の表現手法の幅を広げる。2年次の対お客様や芸術的なコーディネート提案へとつなげていく。					
授業の概要					
ファッションコーディネートの基礎知識・技術を習得し、シルエット、ディテール、色・柄、素材などが異なる複数の服や服飾雑貨を、バランスよく組み合わせて、統一したイメージをつくりあげる事ができる。					
成績評価の方法					
1. 学習意欲 (主体的授業参加度、取り組む姿勢) 2. 課題 (筆記テスト、作品提出) 3. 実技試験 これらの要件で総合的に評価する。				学習意欲	30%
				課題	30%
				実技試験	40%
使用テキスト・教材					
ファッションクロニクル インサイドガイド若者と流行 1945～2021 モダリーナのファッションパーツ図鑑 Men'sモダリーナのファッションパーツ図鑑 WWD JAPAN					
授業内容・授業計画					
					時間数
1.	2026S/S	トレンド解説 (4つのキーワード)			2
2.		ファッションアイテム知識 アパレル分類の理解			2
3.		スタイリングイメージ分類 (マップ制作&実技)			2
4.		①クラシック ②フェミニン ③アバンギャルド ④モード ⑤ストリート			2
5.		基本シルエット分類、シルエットの組み方 (マップ制作&実技)			2
6.	2026S/S	トレンドスタイリング実践 (5つのキーワード) (実技)			2
7.	2026S/S	セルフプロデュース企画概要 (コーディネート企画書制作)			2
8.		①既存のブランドを選定②イメージに沿ったスタイリング構築 (ヘアメイク&洋服)			2
9.		企画プレゼン→ロケハン→撮影			2
10.	2026A/W	トレンド解説 (4つのキーワード)			2
11.	2026A/W	7days ワードローブ企画概要 (ポートフォリオ制作)			2
12.		①テーマ ②コンセプト ③衣装 ④ロケーションの設定			2
13.		手持ち衣装を基礎にした構成、着用計画書の作成。			2
14.		ロケハン→撮影			2
15.		成果プレゼン			2
履修上の注意事項					
単元ごとの課題提を確実に提出することが求められる					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。			接客技術Ⅰ ヘアメイク基礎 アパレル素材論		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			モード史 ファッショントレンドⅠ		

シラバス(授業概要)			年度		2026年度
時間数は45分換算			科目コード		
			授業科目名		授業形態
計数基礎講座 3 ショップマネジメント I 15			講義演習科目		ファッションビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	松本 真由美
履修要件					
必修科目であるため必ず履修が必要である。					
授業の目的・目標					
売り場責任者として、売上・仕入・在庫・利益等の計数管理ができる。					
授業の概要					
店舗運営に必要な売上・仕入と在庫、利益等、計数管理に関する基本知識を計算演習により習得する。					
成績評価の方法					
ペーパーテスト（計数管理の基本に対する理解度）				ペーパーテスト	60%
課題（課題に対する理解度、提出期限厳守）				課題	30%
学習意欲（授業に取り組む姿勢や意欲の有無）				学習意欲	10%
使用テキスト・教材					
やさしくわかる「お店の数字」 著書：山田 公一 価格：1,540 出版社：日本実業出版社 ISBN-10：4534050437 ISBN-13：978-4534050434 発売日：2013/2/15					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 損益計算書の仕組みと事例			2		
2. 比率の計算（売上構成比他）			2		
3. 利益の仕組み（原価）			2		
4. 利益の仕組み（値入と粗利）			2		
5. 値引きと売上利益の変化・粗利ミックス			2		
6. 売価設定と利益の確保			2		
7. ABC分析と在庫管理			2		
8. 商品の効率と適正在庫			2		
9. 損益分岐点売上高			2		
10. 目標利益達成点売上高			2		
11. 季節指数と年間売上計画			2		
12. 資金繰り計画表			2		
13. 売場の効率・スタッフの働き評価			2		
14. 総復習			2		
15. ペーパーテスト			2		
履修上の注意事項					
単元ごとの課題を確実に提出することが求められる。 学校行事や理解度・進捗状況により順序変更の場合がある。					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度		2026年度
			時間数は45分換算		
			科目コード		
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ビジネスプランニング I		演習科目		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	1	川松 夕見子
履修要件					
必修科目であるため必ず履修が必要である。					
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスに不可欠な要素を理解し、それをベースとした発想力、構成力、表現力を身に付ける。 ・実際の商業施設や店舗とのやりとりを通して現場感覚を養い、プロモーションの役割や効果を実践的に学ぶ。 					
授業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> ・企画立案する上で基本となる考え方やアプローチ方法を学ぶ。企画の基本要素とその組み立て方を学ぶ。 ・実際の商業施設への来店促進（来館者数アップ）をテーマに、リサーチやコンセプトワーク、プロモーションの企画、各店舗への提案、実施から効果確認まで一連のプロセスをグループワークで実習し、最後に商業施設へプレゼンする。 					
成績評価の方法					
課題の内容と提出状況、グループワークへの取り組み方（リーダーシップやメンバーへの協力姿勢、積極性等）、プレゼンテーション（企画発表の内容と表現）などをもとに、総合的に評価する。				課題	40%
				学習意欲	30%
				プレゼン	30%
使用テキスト・教材					
スライドデータまたはプリント配布					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 授業オリエン、商業施設による課題説明、チーム構成、ショップ選定					2
2. ショップ基本情報収集、現地確認、ヒアリング準備					4
3. ヒアリング調査実施とまとめ					4
4. プロモーション案検討、企画書作成					4
5. ショップへの企画提案、実施プランのブラッシュアップ					4
6. プロモーションツール作成計画と準備					4
7. プロモーションツール作成と実施					4
8. プロモーション報告プレゼン（チーム発表&ゲスト講評）					4
履修上の注意事項					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。			コミュニケーション技法		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度		2026年度
時間数は45分換算			科目コード		
			授業科目名		授業形態
デザインアプリケーション I			講義演習科目		ファッションビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	1	金田 真哉
履修要件					
必修科目であるため必ず履修が必要である。					
授業の目的・目標					
業界への就職後、店頭やEC業務で必要不可欠なスキル「画像加工、商品出品画像作成」を身につける。画像加工アプリの仕組みを理解し活用できるようになる。					
授業の概要					
画像加工アプリを活用し様々な媒体を設定した実習の反復。					
成績評価の方法					
1. 課題（提出物の内容・完成度） 2. 出席率および学習意欲（授業に取り組む姿勢） 3. 最終課題試験				課題	40%
				出席	30%
				試験	30%
使用テキスト・教材					
講師が作成するワークシート					
授業内容・授業計画					
1. デザインアプリソフトの説明、基礎操作 2. デザインアプリソフトの基礎操作：演習 3. デザインアプリソフトの基礎操作：テーマに沿った課題制作 4. デザインアプリソフトの基礎操作：テーマに沿った課題制作 5. デザインアプリソフトを活用したファッションポートフォリオの制作 6. デザインアプリソフトを活用したファッションポートフォリオの制作 7. 就活に備えるプロフィールマップ制作（ポートフォリオの作成）：最終課題					時間数 2 2 4 4 6 6 6
履修上の注意事項					
単元ごとの課題を確実に提出することが求められる。					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度		2026年度
時間数は45分換算			科目コード		
			授業科目名		授業形態
ヘアメイク基礎			講義演習科目		ファッションビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	前田 紗侑里
履修要件					
必修科目であるため必ず履修が必要である。					
授業の目的・目標					
ヘアメイクの知識、基礎の技術を知り、ファッションにあったヘアメイクで自己表現の可能性を広げる。					
授業の概要					
ヘアメイクの基本となるアイテムや手順を学びセルフメイクを中心にフルメイクを習得。同時にヘアの道具を使いヘアの基本となるゴムの縛り方、ピン打ちを学ぶ。					
成績評価の方法					
1. 出席状況 2. 授業意欲 3. 課題提出				出欠席	30%
				授業意欲	30%
				課題提出	40%
使用テキスト・教材					
配布資料・ヘアメイク道具一式、パソコン					
授業内容・授業計画					
					時間数
1.	シラバス説明・道具の説明・コレクションのヘアメイク				2
2.	ベースメイク（セルフメイク）をしてみよう				2
3.	ヘアアイロン、コテの実践				2
4.	ストアーの服に合わせてヘアメイクをしよう①				2
5.	ストアーの服に合わせてヘアメイクをしよう②				2
6.	自己表現プロデュース 企画				2
7.	1weekコーデ・ヘアメイクを考える				2
8.	1weekコーデ・ヘアメイク 携帯撮影				2
9.	1weekコーデ・ヘアメイク 携帯撮影				2
10.	カメラマン撮影（1コーデのみ撮影）撮影以外は携帯で撮影①				2
11.	カメラマン撮影（1コーデのみ撮影）撮影以外は携帯で撮影②				2
12.	自己プロデュース発表資料製作				2
13.	自己プロデュース発表資料製作				2
14.	発表（1人2分～3分）				2
15.	発表（1人2分～3分）				2
履修上の注意事項					
単元ごとの課題を確実に提出することが求められる。					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度		2026年度
			時間数は45分換算		
			科目コード		
授業科目名		授業形態		学科・コース	
キャリアプラン		講義演習科目		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	2	嶋田 優里
履修要件					
必修科目であるため必ず履修が必要である。					
授業の目的・目標					
1. 自身のキャリアについて、主体的に考える。 2. 自己理解・職業理解を深め、就職活動に向けて自己PRできる力を身に着ける。 3. 社会人として必要なスキル・ビジネスマナーを学ぶ。					
授業の概要					
就職活動に向けて自己理解・職業理解を深め、自己PR、面接練習、エントリーシート作成を通して自信を持って就職活動に取り組めるよう必要なスキルを習得する。					
成績評価の方法					
出席率・主体的授業参加度・課題提出を総合的に判断する。				課題	40%
				出席	30%
				授業態度	30%
使用テキスト・教材					
講師が作成するワークシート					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1	キャリア教育とは？未来のビジョンを描く		2		
2	ファッション系企業の選考スケジュール・試験内容		2		
3	自己理解を深める①		2		
4	自己理解を深める②		2		
5	自己理解を深める③		2		
6	職業理解を深める①		2		
7	職業理解を深める②		2		
8	自己PR・エントリーシート作成①		2		
9	自己PR・エントリーシート作成②		2		
10	自己PR・エントリーシート作成③		2		
11	ビジネスマナー&SPI		2		
12	面接練習①		2		
13	面接練習②		2		
14	面接練習③		2		
15	総括・振り返り		2		
履修上の注意事項					
単元ごとの課題を確実に提出することが求められる。					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2026年度
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
インターンシップ		演習科目		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	選択	30	1	金田 真哉
履修要件					
必修科目であるため必ず履修が必要である。					
授業の目的・目標					
就職に備えた業界理解、自身の適正を理解すること。					
授業の概要					
関連企業の外部イベントスタッフ等を通じ職業観の醸成を図る。					
成績評価の方法					
1. 平常点 2. 意欲（インターンに取り組む姿勢） 3. 出席率				平常点	30%
				学習意欲	30%
				出席率	40%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
1. ～15. ①関連企業におけるスタッフ業務			時間数		
②企業研修			15		
			15	時間数	
履修上の注意事項					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度		2026年度
			時間数は45分換算		
			科目コード		
授業科目名		授業形態		学科・コース	
産学連携プロジェクト I		講義演習科目		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	2	金田 真哉 瀬田 新介
履修要件					
必修科目であるため必ず履修が必要である。					
授業の目的・目標					
外部企業、社会との連携を図り実体験を重ねていくことを目的とする。					
授業の概要					
授業内で習得した知識や技術を、学校外部での実体験を通じ、自身の視野や価値観を拡大し自信につなげ就職活動に活用していく。					
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> ・課題（企画書） ・平常点（主体的な授業参加度） ・学習意欲（学習意欲の有無、取組む姿勢） 				課題	40%
				平常点	30%
				学習意欲	30%
使用テキスト・教材					
講師が作成するワークシート					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1	産官学連携、SDGsやサステナブルを踏まえた企画立案		30		
2	を行いプレゼンテーションを行う。				
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
履修上の注意事項					
単元ごとの課題を確実に提出することが求められる。					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2026年度
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ファッションビジネス特別演習 I		講義演習科目		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	1	松本 真由美 うちだ しんのすけ 金田 真哉
履修要件					
授業の目的・目標					
①計数管理能力を高める集中講義 ②作品撮影 ③外部イベントへの取り組み を通じ業界関連職種の理解度を高めることを目的とする。					
授業の概要					
①計数管理特別講座 全3コマ ②作品撮影 全4コマ ③外部イベント 8コマ					
成績評価の方法					
出席、授業態度、意欲など総合して判断する。				平常点	30%
				学習意欲	30%
				課題	40%
使用テキスト・教材					
平常点（主体的な授業参加度） 学習意欲（学習意欲の有無、取組む姿勢） 課題（作品）					
授業内容・授業計画					
1. 計数管理特別講座 ①計数把握の意義 ②売上高の把握 ③売上利益予測の例					時間数 6
2. 作品撮影 ヘアメイク基礎と連動、撮影。					8
3. 外部イベント 講演会、美術館見学など。					16
履修上の注意事項					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。			ショッピングマネジメント		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			ファッションコーディネート ヘアメイク基礎		